

事務局報告

報告:秋山 満

部門概要: 事務局運営

(事務局スタッフ:代表…沼田／事務局長…秋山／会計…堂前・本庄)

- 目的: 月1回の運営会議、各事業の進捗管理、人材育成、事務所運営、管理など、会のスムーズな運営のために活動する。

<事務局の仕事>

- 1) 即決断が求められたときの決定機関
- 2) 運営会議の準備
- 3) 総会準備
- 4) 会計、資金繰り
- 5) 助成金の申請とその手配
- 6) メール・リングリストの管理
- 7) メールのチェック
- 8) NPO法人関連手続き
- 9) 全般的なコーディネート
- 10) 対外的な交渉など(マンション関連他)
- 11) 記録・写真・スクラップの整理・管理

● 経過:

- ① 月1回の運営会議は継続的に実施
- ② 会報は2回発行した
- ③ 事務局会議は適宜開催
- ④ 他団体、企業からの依頼に対応

● 結果・効果:

- ① 運営会議、事務局会議の実施
- ② 会報の発行 2024 年 6 月・8 月の 2 回発行
- ③ 助成金獲得 公益財団法人エイズ予防財団様よりエイズ電話相談事業に 380,000 円の助成

● 課題:

2024 年度も、各々の生業がある中でも、活動に積極的に参加いただいたスタッフに、この場を借りて、お礼申し上げます。

① 事業面

2024 年度は、イベント等も少しずつコロナ流行以前に戻りつつある中で、少ない人数で各部事業を実施していたこともあり、事務局活動は省力にならざるを得なかったが、その中でも、前年度に引き続き、札幌市主催「LGBT のためのエイズ検査」の企画提案・広報・相談員派遣を受託でき、検査機会の提供の一助となったと考えています。また、厚生労働省研究班(MSM ALL JAPAN)の活動にも引き続き協力させていただき、(一社)にいろいろほかいどうと共にイベントの企画・運営・班会議・エイズ学会に参加することができました。また、2024 年度も様々な団体・企業・行政機関のつながり、活動ができた年になったと感じています。

② 資金面

資金面では、2024 年度についてはエイズ予防財団からエイズ電話相談に対する助成金を獲得したほか、Sapporo5 リボンスから各団体への分配金があり、大幅な黒字決算となりました。bda オーガニックの助成金の精算払いは、2025 年度以降となる予定です。

助成金だけではなく、相談員派遣に伴う謝金、キルト販売の収益、会員の皆さまによる会費納入の他、ご寄附もいただき、運営できました。

③ 運営面

2024 年度も、短期目標を掲げ、少ない人数ながらも各部事業を実施してきた。スタッフそれぞれが、外部のオンライン研修等に積極的に参加し、研鑽につとめることもできた。市内はもとより、道内、全国の関係機関との連携も芽が出つつあると考えています。

新年度も、引き続き

(1)講演活動、電話相談のさらなる質の向上に注力する。

(2)陽性者交流会事業の継続開催を通じて、ネットワークを広げていく。

(3)次の20年を担う新規スタッフを計画的に育成するために、スタッフ募集と研修をおこなっていく。

(4)会の趣旨や考え方などをしっかり継承していける体制を作る。

(5)賛助会員や寄付者に向けた継続的なフォローや広報を引き続きおこなうのと同時に、助成金の安定的な獲得など資金面の基盤作りをする。

以上について、必要があると考え、まずは、短期目標達成を目指し、全スタッフで取り組んでいきたい。

最後に、新年度も引き続き、より多くのスタッフが、自分にあった関わり方で、活動に参加してほしいと考えている。「イベントに参加する」「事業の担当になる」という形だけではなく、イベントまでの準備や、ブログの更新、動画配信の構想・編集、資料の発送作業等々、細かい活動も多いので、できることをできる範囲で、関わってもらえるよう、事務局もメンバーリスト等を用いて、呼びかけていきたい。正会員に限らず、ヘルプスタッフからも新しい提案(些細なことでも構いません)をたくさんしてほしいと考えているので、やりたいことがあれば相談できる事務局体制を築いていきます。よろしくお願いいたします。